

福生市議会だより

FUSSA

No.158

発行 福生市議会
平成18年10月25日
〒197-8501 福生市本町5番地
☎ 042(551)1511(代表)
☎ 042(551)1523(ダイヤルイン)

平成18年 第3回定例会



▲「第18回国際フェアin福生」風景

分を一件承認した後、福生市ひとり親家庭等の医療費の助成に関する条例の改正、福生市国民健康保険条例の改正に続き、平成一八年度福生市一般会計他三件の特別会計補正予算についての議案と平成一七年度福生市一般会計他五件の特別会計決算認定についての議案及び陳情と請願を各委員会に付託しました。

▼五日目(二九日)は、今定例会の最終日で、四日目に各委員会に付託されて結論づけられた議案一二件を可決し、陳情二件と請願一件を採択。議員提出による議案のうち「福生市議会議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正条例」は否決、「福生市議会議員定数条例の一部改正条例」は可決した。

続いて、福生市固定資産評価審査委員会委員の選任に同意、その後、意見書二件を全会一致で可決し、第三回定例会を閉会しました。

▼二日目(六日)は、前日に引き続き六人の議員から一般質問が行われました。

▼三日目(七日)は、前日に引き続き六人の議員から一般質問が行われ、一般質問は終了しました。

▼四日目(八日)は、市長から提案された専決処

平成一八年度第三回定例会が、九月五日から二九日までの二五日間の会期で行われました。

今回は一八人の議員による一般質問の後、平成一七年度決算及び議員提出議案等、議案一七件及び陳情二件、請願一件の審議が行われました。

本会議の経過

▼一日目(五日)は、一般質問の通告者数、議案及び陳情を付託される委員会等の開催日数を勘案して会期を二五日間と決定し、その後、議員から市の行政全体にわ

たつて市長等に対して、事務の執行状況や将来に対する市の方針、また、議員活動において気がついた点や、市民要望等に対する考え方などについて、市長等の所信をただしたり、疑問をただす一般質問が六人の議員から行われました。

▼二日目(六日)は、前日に引き続き六人の議員から一般質問が行われました。

▼三日目(七日)は、前日に引き続き六人の議員から一般質問が行われ、一般質問は終了しました。

▼四日目(八日)は、市長から提案された専決処

議員定数二名減 二〇名に 平成一九年統一地方選挙から適用

主な内容

議決結果の要旨……2面
17年度決算審査から…3面
一般質問 …… 4~6面
委員会の審査活動から等…7~8面

児童扶養手当の減額率の緩和に関する意見書(要旨)

政府は平成一五年四月に児童扶養手当法の見直しを行い、受給してから五年を経過したとき、または受給要件該当後七年を経過したときは、手当額の二分の一を超えない額を支給しないと、その減額の割合を定める政令は平成二〇年四月一日までに定めることとしている。

母子家庭は、子育てと生計の担い手という二つの役割を一人で担い、生活全般にわたり多くの困難を抱えている。一般家庭に比べ、著しく収入が少ない母子家庭は、児童扶養手当に大きく依存しており、児童扶養手当の減額は大きな痛手となることから、見直しによる減額率を緩和するとともに、母子家庭の自立に向けた就労支援策の一層の充実を図るよう強く要望する。

(内閣総理、総務、財務、厚生労働大臣)

出資法及び貸金業規制法の改正に関する意見書(要旨)

消費者金融など複数業者からの借り入れによる多重債務者が後を絶たず、社会問題化している。背景に、貸金業規制法と出資法の上限の差、いわゆる「グレーゾーン金利」で営業する貸金業者が多いのが実態である。

こうした中、最高裁判所は、利息制限法の上限を超える利息について「みなし弁済」規定の適用条件を厳格に解釈した判決を示した。

国では、平成一九年一月を目途に出資法等の上限金利を見直すとしている。そこで、一、一律に利息制限法第一条の制限金利まで引き下げ、二、「みなし弁済」規定の撤廃、三、日賦貸金業者及び電話担保金融に対する特例金利の廃止、四、保証料名下的出資法及び利息制限法の脱法の禁止。を要請する。

(内閣総理、総務、法務、金融担当大臣、衆・参議長)